

令和5年度の富山県成長戦略の取組みについて

1 令和4年度からの主な見直し

成長戦略会議での議論を効果的なものとするため、以下の通り見直し

- 6つの戦略のうち、当面の重点的な取組みが決定し、実行段階に入っているもの、県などで集中的に検討・推進する体制が整えられた分野については、プロジェクトチーム(PT)の委員の意見もお聞きしながら、新たに設置された検討組織において、戦略の取組みを検討・推進。(別紙1)
- PTを継続的に開催するものについては、選択と集中により、効果的な検討と施策立案につなげるため、議論する重点的課題をさらに絞り込んで抽出。
- PT及び県で抽出した重点的な検討課題について、委員の意見、提案を踏まえて、県において、重点的な取組みを検討、施策として整理、アクションプランにとりまとめ。
- 議論をオープンにし、県内外への成長戦略を発信し、関係者の理解を深め、連携強化を図るため、各PT・専門部会についても原則公開で開催。

2 取組内容

成長戦略のビジョンの実現に向けて、(1)令和4年度・5年度アクションプランの成果等を検証するとともに、(2)令和6年度アクションプランをとりまとめる。

(1)令和4年度・5年度アクションプランの検証

- ・県で、令和4年度アクションプランに掲載された事業の主な成果やKPIへの寄与等を検証し、PTへ報告。【R5.4月】
- ・県で、令和5年度アクションプランに掲載された事業の進め方などを検証するとともに、必要に応じて、成長戦略会議やPTに報告しながら、効果的な事業の実施を図る。【R5.4月～】

(2)令和6年度アクションプランのとりまとめ

① 令和6年度に向けた「重点的検討課題」の抽出【R5.4～5月】

- ・(1)の検証も踏まえ、PT又は県で、令和6年度に向けた「重点的検討課題」を抽出[※]する。

(PTで抽出する場合は、例えば、PT委員1人あたり1テーマに1つ最も重点的検討課題を提案いただく)

- ※ 検討課題の抽出に当たっては、「成長戦略の効果を高めるための新たな検討課題」(別紙2)を含めるとともに、成長戦略本文に記載の「継続的検討課題」も考慮。

- ・「重点的検討課題」について、県でとりまとめて、成長戦略会議に報告し、意見交換。⇒ 各戦略における検討課題の決定

② 令和6年度の「重点的取組み」の検討【R5.5～10月】

- ・県で、①の課題を解決するための令和6年度の「重点的取組み」を検討する。随時、PT委員と意見交換するほか、必要に応じて、PTを開催。

③ 令和6年度アクションプランのとりまとめ【R5.10～R6.2月】

- ・県で、②の「重点的取組み」を具体化するための事業を立案し、関連事業と併せて令和6年度アクションプランとしてとりまとめ、成長戦略会議に報告する。

【参考(PTと県の役割)】

項目	実施主体	
	令和4年度	令和5年度
(1)前年度・当年度 アクションプランの検証	PT	県 (PTに報告)
(2)①次年度に向けた課題抽出	PT	PT 又は 県
(2)②次年度の「重点的取組み」 の検討	PT	県 (必要に応じてPTで検討)
(3)③次年度アクションプラン のとりまとめ	県	県

3 取組体制

○成長戦略会議

- ・成長戦略の取組方針を検討・決定等
- ・必要に応じて、県の取組みに対して助言

○PT・専門部会

- ・必要に応じて、各年度の重点的検討課題の抽出、新たな検討課題の検討
- ・県の取組みに対して助言

○富山県

- ・成長戦略会議での議論や、各PT・専門部会での検討結果も踏まえて、(1)令和4年度・令和5年度アクションプランを検証、(2)重点的な取組みを検討し、令和6年度アクションプランをとりまとめ

○各戦略における今後の主な取組みとPTの関わりについて

戦略	進捗状況と主な成果	今後の主な取組み
(1) ウェルビーイング戦略	(ウェルビーイングの推進) ・ウェルビーイング県民意識調査の実施 ・ ウェルビーイング指標を策定 、県民のウェルビーイング状態把握 ・ウェルビーイング指標の 政策形成プロセスへの反映を決定 ・ウェルビーイングの県民への普及啓発 ・県職員自身のウェルビーイングへの意識向上を図るため、県庁内広報を実施	【実行段階】 ・ウェルビーイング指標を県の政策形成プロセスで活用し、多様なニーズに届く施策を実現 ・ウェルビーイング指標を七色の花に見立て、わかりやすく発信 ・県民自らのウェルビーイングが高まる行動や取組みを後押し ⇒ 先例のない新たな課題への対応であり、 引き続き、県とPTが一体となって取組みを議論、検証
	(若い女性のウェルビーイング向上) ・ 少子化対策・子育て支援専門部会を設置 ・喫緊の課題である「少子化対策」「子育て支援」についての 緊急パッケージを実施 (9月補正)	【実行段階】 ・経営者の意識改革、働き方改革などにより、就職期の女性が、富山県で就職し、生活したくなるような環境づくりを推進 ・子どもを持つことを意識しはじめる年齢層に響く子育て支援施策をさらに強化 ⇒ 新たな課題への対応であり、 引き続き、県と専門部会が一体となって取組みを議論、検証
(2) まちづくり戦略	(官民連携による富山らしい個性的なまちづくり) ・まちづくりのモデルケースの創出に向けた支援の実施 ・新たな官民連携によるまちづくり、人材の育成・集積を推進する中間支援組織として「 しあわせデザイン 」が 設立予定	【実行段階】 ・ 県(官民連携・規制緩和推進本部(仮称))と市町村、しあわせデザイン、まちづくり支援組織とが連携し、これまで対応が困難であった、分野横断的で多くの関係者に関わる、まちづくりプロジェクトの推進、各地域の特色を生かしたボトムアップのまちづくり事業を推進 ⇒ 県の取組み、まちづくり支援組織等への支援などについて、 必要に応じて、PTから提案
	(持続可能な魅力ある田園地域づくり) ・「 持続可能な魅力ある田園地域づくり 」について、集中的に検討する 専門部会を設置	【検討を深掘り】 ・ 持続可能な魅力ある田園地域づくり(=美しい過疎地域の景観の保全、快適で居心地の良い暮らしの創出、求心力の向上など) に向けて必要な取組みを整理し、検討 ⇒ 新たな課題への対応であり、必要な取組みについて 専門部会で議論、検証
(3) ブランディング戦略	・「 寿司 」に焦点を絞り、「 富山=ウェルビーイング 」の イメージを発信していくことを決定 ・県において、情報発信のあり方を検討し、県のブランディングを強力に推進するため、 ブランディング推進本部を設置	【実行段階】 ブランディング推進本部が中心となって、 ・「 寿司 と云えば、 富山 」を象徴する場の創出と発信を実施 ・ デジタルマーケティングや民間ノウハウを活用した効果的・戦略的な広報・ブランディング方法を検討 ⇒ 県事業やブランディング推進本部の取組みなどに対して、 必要に応じて、PTから提案

(4) 新産業戦略	<p>(アルミ・くすり、リサイクル)</p> <ul style="list-style-type: none"> とやまアルミコンソーシアムにおいて、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーに関する研究開発を実施 富山大学による、産学官金連携アルミリサイクル開発拠点の整備への支援 「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムにおいて、産学官が密接に連携し、医薬品分野における研究開発や専門人材の育成を推進 	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> コンソーシアムが中心となって、アルミ・くすり、リサイクル等の産業競争力強化に向けた連携事業を推進 ⇒ コンソーシアム等の取組みなどに対して、必要に応じて、PTから提案
	<p>(デジタル・DX)</p> <ul style="list-style-type: none"> DX・働き方改革推進本部を設置、基本方針を策定 先進的なデジタル技術を活用して地域課題を解決する実証実験プロジェクトを募集 → 独創性・新規性を有する提案7件を採択 IoTコンソーシアムにおける成功事例の動画作成などにより、県内企業のデジタル技術を活用した企業変革を推進 	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県DX・働き方改革推進本部が中心となって、デジタル産業の振興・創出に向けた、企業や地域社会におけるデジタル技術の活用促進や実証実験の誘致を推進 ⇒ 県DX・働き方改革推進本部の取組みなどに対して、必要に応じて、PTから提案
	<p>(カーボンニュートラル)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、足下から2030年度までに実施すべき取組みを描く「富山県カーボンニュートラル戦略」を策定、国を上回る意欲的な温室効果ガスの排出削減目標を設定 	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県カーボンニュートラル推進本部が中心となって、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを推進 ⇒ 県カーボンニュートラル推進本部の取組みなどに対して、必要に応じて、PTから提案
	<p>(その他の分野)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自立した経済圏」、「人材育成、公教育の強化」について、PTで重点的に議論、必要な事業を予算化 	<p>【検討を深掘り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方から、ESG(環境・社会・ガバナンス)など国際標準化時代をリードするための取組みを、整理・検討 ウェルビーイング社会の実現に向けた、クリエイティブ人材の育成・集積のための取組みを検討 新しい価値を生む、デザイン思考による新たな商品開発の促進に向けた取組みを検討 ⇒ 新たな課題への対応であり、必要な取組みについてPTで議論、検証
(5) スタートアップ支援戦略	<ul style="list-style-type: none"> 職住一体の施設「SCOP TOYAMA」を開設し、創業支援サービスを提供 T-Startup支援対象企業6社を選定し、突き抜けた成長性のあるスタートアップを集中的に支援 	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上場に対する起業家の意識を高めるとともに、ロールモデルの創出を図る スタートアップ・エコシステムの形成に向けて、県内企業・団体が行う創業・スタートアップ支援を促す取組みの推進 金融教育の推進 ⇒ 先例のない新たな課題への対応であり、引き続き、PTと県が一体となって取組みを検討・推進
(6) 県庁オープン化戦略	<p>(県庁組織の活性化、働き方改革の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度県庁活性化方針の策定 ジョブチャレンジ制度、庁内複業制度の創設 官民協働事業レビューを本格実施 専門コンサルによる伴走支援を行いながら働き方改革を実践 	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度県庁活性化方針に基づき、県庁組織の活性化と職員のウェルビーイングの向上につながる取組みを推進するとともに、組織の垣根を越えて活躍する越境人材を育成 働き方改革の優良事例の横展開 職員の「県の広報担当」としてのマインドとスキルの醸成 ⇒ 新たな課題への対応であり、引き続き、県とPTが一体となって取組みを議論、検証
	<p>(デジタル化を活用した住民サービスの向上・住民参加)</p> <ul style="list-style-type: none"> DX・働き方改革推進本部を設置、基本方針を策定 手数料等納付を伴う行政手続きの電子申請・電子納付を開始 オンラインで書類内容確認、合意締結が可能な電子契約を導入 	<p>【実行段階】</p> <ul style="list-style-type: none"> DX・働き方改革推進本部が中心となって、デジタルプラットフォームの整備などにより、住民サービスの向上や住民参加、行政の効率化を推進 ⇒ DX・働き方改革推進本部の取組みなどに対して、必要に応じて、PTから提案

令和5年度「成長戦略の効果を高めるための新たな検討課題」の見直しについて

第3回富山県成長戦略会議（R5.1.13）での議論を踏まえて、「成長戦略の効果を高めるための新たな検討課題」について、以下のとおり、検討主体や検討内容を見直すもの。

1 見直し内容

① 当初提示案

- ・第3回会議において、「成長戦略の効果を高めるための新たな検討課題」として、①人材育成、②クリエイティブ・デザイン思考、③官民連携、④デジタル・DXの4点を「検討課題」として成長戦略会議で分野横断的に検討することを提案。
- ⇒委員意見：検討内容が不明確、具体的な内容をPTで検討すべき等のご意見

② 見直し案

- ・当初、「検討課題」として掲げた①～④の4点の「課題」を「重点的に取り組むテーマ」と置換え、このテーマを進めるため、課題と対応等を各PTや県で検討。
- ・検討結果は令和6年度のアクションプランに反映する。

2 各テーマの検討体制と主な検討内容等

【テーマ1】クリエイティブ人材の育成・集積

① 趣旨

- ・人材育成のうち、ウェルビーイング社会の実現に向け、県の経済成長を支える革新的な企業の成長や社会課題解決型ビジネスを担い、新たな価値を生み出すクリエイティブな人材を育成・集積するための重点的な取組みなどを検討。

② 主な検討内容と検討主体（案）

- ・成長戦略会議、各PTでのこれまでの議論を踏まえて、以下の(1)～(6)について検討。
- ・(1)クリエイティブ人材については、新産業戦略PTで、検討する分野に応じて新たに専門家等に委員に就任いただき、重点的に検討を行う。
- ・既に別の検討主体がある(2)～(6)については、各検討主体で検討を進め、必要に応じて新産業PTからも提案を行う。

主な検討内容等	検討主体
(1)クリエイティブ人材 ウェルビーイング社会の実現に向け、 <u>新産業戦略及びスタートアップ支援戦略等を担う人材の育成・集積</u> 【人材の例】 ①クリエイティブな発想で既存の県内企業や伝統産業の価値を高める人材 ②社会課題解決を行うスタートアップやスモールビジネスを起業する人材など 【検討範囲】 ・ <u>ビジネスパーソンに必要な技術的なスキルアップだけではなく、「突き抜けた人材」の基盤となる能力（広い視野、柔軟な発想、共感する力、やりぬく力等）を育成するための、幼児期・学童期における情操教育や非認知能力等の育成も対象として、学校教育や既存の検討主体で対応できない部分を補完して検討。</u>	新産業戦略PT ※ 検討する分野に応じて、専門家や、ウェルビーイング戦略PT、スタートアップ支援戦略PTの委員等に出席いただく。

<別の検討主体で検討>

主な検討内容	検討主体
(2)多様性、生きる力、非認知能力の涵養	教育大綱改訂に関する有識者委員会、総合教育会議、教育委員会
(3)リカレント教育・リスクリング (在職者向け職業訓練等)の推進	富山県リカレント教育等産学官連携推進会議、職業能力開発審議会
(4)DX人材の育成・集積	DX・働き方改革推進本部
(5)まちづくり人材の育成・集積	まちづくり戦略PT (しあわせデザインの連携・支援の取組みと併せて検討)
(6)起業家精神の涵養、金融教育の推進	スタートアップ支援戦略PT

【テーマ2】クリエイティブ・デザイン思考の活用促進

① 趣 旨

- ・富山県で新しい価値を生む取組みの創出を促進するため、クリエイターの視点やデザイン思考の活用の促進のための取組みなどを検討。

② 主な検討内容

- ・上記趣旨に関連する以下の主な検討内容ごとに、各戦略において具体的な取組と施策を立案。

主な検討内容	関連する戦略
・居心地のよい個性的なまちづくり	まちづくり戦略
・デザイン思考による新たな商品開発	新産業戦略
・デザイン思考による施策の立案	県庁オープン化戦略

【テーマ3】官民連携の促進

① 趣 旨

- ・社会のニーズを的確に捉え、新しい価値を生む取組みを促進するために、一歩進んだ官民連携の取組みを検討。

② 主な検討内容と関係PT

- ・基本的には、令和5年度に知事をトップとして庁内に設置する「官民連携・規制緩和推進本部（仮称）」^{*}において検討を進める。
※民間の技術革新やイノベーションの促進に向けて、県庁内での官民連携に関する課題・ノウハウの共有化や事業の推進、組織体制の構築を図る
- ・同推進本部の検討状況を踏まえて、下記の主な検討項目について、必要に応じて各PTから提案を行う。

主な検討項目	関係PT
・産学官連携によるボトムアップなまちづくり ⇒しあわせデザインとの連携・支援 等	まちづくり戦略PT
・産学官連携による新産業の創出 ⇒大学・産業支援機関・民間事業者等との連携促進（大学発シーズの民間活用）等	新産業戦略PT
・包括連携協定締結企業との連携による取組み ・住民の行政参加の促進 等	県庁オープン化戦略PT

【テーマ4】 デジタル・DXの活用推進

① 趣 旨

- ・ 社会のニーズを的確に捉え、新しい価値を生む取組みを促進するために、各分野における効率化や高付加価値のためのデジタル・DXを活用した取組みを検討。

② 主な検討内容と検討主体（案）

- ・ デジタル・DXの活用推進は全ての戦略分野に関わることから、県の「DX・働き方改革推進本部」での検討を踏まえて、各戦略において「重点的取組み」の検討の際に、デジタル・DXの活用による効率化、高付加価値化の視点を留意して検討。

※ 分野横断的な取組みについては、県の「DX・働き方改革推進本部」を活用して推進。